

『根気の火災調査で未来の命を』

きむら たかし

警防部 警防課 指揮支援・調査隊 消防士 木村 嵩 (29)

《業務内容》

私が担当している火災調査の仕事は、枚方市・寝屋川市で発生する全ての火災現場に出勤し、出火原因の究明や建物の損害状況を調査することです。火災現場で消防担当などが消火活動を行っている中、逃げ遅れた方の確認や関係者から火災が発生した時の状況の聞き込みなどを行い、出火原因を究明するための情報を収集することに努めています。また、火災現場の状況を写真撮影することや、被害状況の確認作業も大事な作業になります。

そして、消火活動終了後に調査隊の主な活動へと移っていきます。例えば、建物が燃えた火災であれば、焼けた建物から出火箇所を特定し、火災発生の原因となるものを探っていきます。原因が判明すれば、その原因から得た情報をもとに、製造メーカーや外部機関と合同調査を行うなどして、その結果を消費者庁や経済産業省を通して全国規模で発信し、市民の方々が同様の被害に遭わないように、そして1件でも多く火災件数を減らすために日々取り組んでいます。



《仕事に対するやりがい》

1件の火災が発生してから、火災原因を調査し報告書類の作成や市民の方々への広報が終了するまでに、かなりの時間を費やします。時間をかけても火災原因が判明しないことや、消防隊・救助隊・救急隊のように災害現場で人命救助活動にあたることはなく、市民の方々から感謝の言葉を直接言ってもらえることもほとんどありません。しかし、私たちが粘り強く火災原因を究明することで、何千、何万という数の製品が回収・改良され、その数だけ未来の火災危険を回避することができます。『枚方市・寝屋川市だけでなく、全国民の未来の命を救うことができる。』という、この目には見えない達成感を味わえるのは調査隊ならではのやりがいを感じる瞬間でもあります。そのためにも小さな原因を見逃さない根気強い調査を心掛け、1件でも多くの火災を減らし、同様の火災が起らないように、日々調査業務について探求しています。

